

平成 17 年度 第 2 回南伊豆町行政改革推進委員会 会議録																																					
日 時	平成 17 年 9 月 30 日 (午前 9 時 00 分から午前 11 時 30 分)																																				
場 所	南伊豆町役場 3 階 委員会室																																				
構 成 員 及 び 出 欠	<table border="0"> <tr> <td>会 長</td> <td>渡辺 幸雄</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>職務代理人</td> <td>保坂 好明</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>清水 清一</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大野 千賀子</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>佐藤 保孝</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>藤田 仁郎</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中川 洋子</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山本 幸雄</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>事 務 局</td> <td>小島 徳三</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>松本 恒明</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山口 一実</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鈴木 邦広</td> <td>〃</td> </tr> </table>	会 長	渡辺 幸雄	出席	職務代理人	保坂 好明	〃	委 員	清水 清一	〃		大野 千賀子	〃		佐藤 保孝	〃		藤田 仁郎	〃		中川 洋子	〃		山本 幸雄	〃	事 務 局	小島 徳三	〃		松本 恒明	〃		山口 一実	〃		鈴木 邦広	〃
会 長	渡辺 幸雄	出席																																			
職務代理人	保坂 好明	〃																																			
委 員	清水 清一	〃																																			
	大野 千賀子	〃																																			
	佐藤 保孝	〃																																			
	藤田 仁郎	〃																																			
	中川 洋子	〃																																			
	山本 幸雄	〃																																			
事 務 局	小島 徳三	〃																																			
	松本 恒明	〃																																			
	山口 一実	〃																																			
	鈴木 邦広	〃																																			
審議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 議事録署名人の指名、 2 第 1 回行政改革推進委員会の会議録の承認と公表について 3 行政改革実施項目案の検討について 4 行政改革大綱の骨子 (案) についての検討 5 次回の会議日程について 																																				
使用資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 南伊豆町行政改革大綱の骨子 (資料③) 2 行政改革大綱及び行政改革推進実施計画の考え方について (資料④) 3 平成 17 年度 第 1 回南伊豆町行政改革推進委員会 会議録 4 新しい「公共空間」の形成のイメージ (追加資料) 																																				

(会長挨拶)

前回9月8日に第1回行政改革推進委員会を開催しましたが、衆議院選挙をはさみ国のほうも行政改革についてスピードアップしてくると思います。また、各市町村において新年度予算に取りかかる時期に入ると、あらゆるもの見直し・町を良くする新しい改革をしていきますが、何でも切り捨てるのではなく、明るい展望も含めて皆さんに小さなことでも結構ですので意見を述べていただきたいと思います。資料の内容については膨大で難しいですが、皆さんの立場で意見を述べていただきたいと思います。

(議事録署名人の指名、第1回行政改革推進委員会の会議録の承認と公表の方法について)

議事録署名人は委員を順番で指名することとした。今回は佐藤保孝委員が署名人として指名された。また議事録及び会議資料は原則としてすべてを公開することとした。前回会議の資料④についてはまだ検討段階であり誤解を招く恐れがあるため、行政改革推進の具体的方策の部分については非公開とした。

公開の方法については、町のホームページ・広報に掲載することとし、広報みなみいずの11月号に委員の名簿を掲載する予定を説明した。また、会長のコメントを含めて伊豆新聞等への資料提供などを行い、その中で住民から出た意見・要望等については行政改革推進委員会で取り入れるか入れないかを検討することとした。

(行政改革実施案の検討)

・第1回行政改革推進委員会会議資料②の「背景」の2行目に新しい公共空間とあるがどういった意味なのか。

→行政の守備範囲を縮小して公共の仕事をNPOや地元区等の民間にもやってもらい、協働して公共的サービスを提供していくことととらえていただきたい。

・行政改革は今ある無駄を省くだけでなく、先を見ることだと思う。提供された資料には無駄を省く資料ばかりで先を見る希望が感じられない。確かに無駄を省くことは重要なことだが、もっと先を見据えた中で将来の南伊豆町の夢を盛り込むべきである。

・都心部などで地震や災害等が起こった場合、被害者を受け入れられるような体制を構築しPRしたらどうか。

- ・最近、田舎暮らしについて雑誌やテレビで報道されているが、南伊豆町も斬新な方法でPRをしたらどうか。しかし、都心部から来た際に南伊豆町は医療面に不安がある。これらに対処できるよう手助けなどバックアップ体制を構築していくべきではないか。

- ・さくら祭り等のイベントの際に、役場でもホームページを毎日更新するなど誘客のための情報発信をもっとしていくべきだと思う。

- ・三位一体改革という言葉をよく耳にするが、三位一体とはどういう意味なのか。

→地方分権一括推進法が2000年に制定され、その中で国の持っていた権限・財源を地方に移すということを前提に三位一体改革を始めた。国庫補助金の削減、地方交付税の削減、住民税の改正などをして財源を地方に移すという形でとらえてもらえればよいと思う。

- ・第1回南伊豆町行政改革推進委員会会議資料④の9. その他（各課・局における行財政改革等の取組状況）の企画調整課の欄に旧薬用試験場跡地に関することがあるがこれは今どうなっているのか。

→現状は、湯の花が活用、足湯を建設し源泉の復旧、駐車場として活用している。使われていない施設については、職員でプロジェクトを立ち上げ検討中だが、最終的な到達目標が定まっていないため長期的な計画がなかなか示されていない。町長の選挙公約の中に保健福祉センターとして活用するとうたわれていたので、そういった方向での検討も必要ではないだろうか。全体的なことについては産業団体連絡会があり、今年度は商工会が幹事となって全体的な案を立ててほしいとしているがまだ見えていない。

- ・旧薬用試験場跡地を町がどう捉えるかが大事。一番の交通の要所であり、良質の源泉もあることから南伊豆町の産業の集約した場所になるのではないだろうか。また、住民から町へ提案が出せるような場を提供して意見を取り入れたらどうか。この場所が将来への既得権にならないように気をつけなければならないが、今ある町有地を有効活用することは行政改革にも繋がってくる。

- ・資料④の 1. 基本的留意事項の (2) 民間活力の活用とあるが、保育所については民間委託しないでほしい。民間委託した方が合理的で無駄の無い教育ができるかもしれないが、教育には無駄があるものであり、この無駄が将来の子供たちの有効な芽に繋がる面があるので民間委託の対象にしないでほしい。
- ・行政評価はシステム化されているのか。評価は難しいと思うが、これを導入することによって職員のレベルアップに繋がるのではないか。
 - 現在は導入されていない。新しい事業等については行政評価を行うべきだが、現段階では大規模な建設工事をするわけでもなく、事務についての行政評価は効果的なものがあるわけでもないため、あらゆる面を考慮して今後検討していかなければならないと考えている。
- ・銀の湯については、最近似たような施設が多くあるが、多くの施設に行ったりするなどして勉強し向上心をもって仕事をするべきではないだろうか。

(行政改革大綱の骨子 (案) についての検討)

第 1 回行政改革推進委員会会議資料③により、行政改革大綱の実施期間について 5 年間でベースに考えていること、実施方法については 5. 方策に記載されている事項を個別に積み重ねていったものを総論的に述べてまとめていくスタイルで考えていることを言い、会議の中で新たな考え方が出てきたときにはそのつど検討していくことを説明した。また方策について、8 項目のそれぞれの内容について 1 つずつ取り上げて説明をし、次回の会議以降から 1 項目、あるいは 2 項目ずつのペースで審議していくこととした。

(次回の会議日程について)

次回の会議は 10 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分から開催し、方策の具体的な事項について検討していくこととした。

平成 17 年 10 月 12 日

南伊豆町行政改革推進委員会 会長

渡邊奇雄

南伊豆町行政改革推進委員会 委員

佐藤保孝